



だいの風

義務教育学校

日高市立武蔵台小中学校

令和8年5月8日 5月号No.3

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦・交流・表現」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



入学式および後期課程進級式 式辞 (抜粋)

〈1年生へ〉

1年生の皆さんには2つお話しします。1つ目は、毎日、笑顔で元気に学校生活を送ってください。学校はとっても楽しいところです。学校はたくさん勉強して、たくさん運動して、たくさん遊んで、たくさん笑って、たくさん失敗するところです。心配することなんか何一つありません。でも、もし分からないことや心配なことがあったら、先生やお友達、お兄さんお姉さんに何でも聞いてください。2つ目は、早寝、早起きをして、朝ご飯をしっかりと食べてください。早寝、早起きをして朝ご飯をしっかりと食べると、元気いっぱい、笑顔いっぱいに学校生活が送れます。大きな校庭や広い体育館で、元気いっぱいに走り回って、丈夫な体をつくりましょう。

〈7年生へ〉

武蔵台小中の先生は、「皆さんの持っている可能性を最大限に伸ばしたい」と強く思っています。そのためには、皆さん自身が「挑戦する強い意志」を身に付けることが重要です。誰だって失敗することは嫌です。しかし、事を成し遂げた人、成功を収めた人は、何度も何度も失敗を繰り返しながら、決して諦めずに挑戦し続けた人ばかりです。途中で諦めることなく、試行錯誤しながら挑戦していけば、今までできなかったことが必ずできるようになります。皆さんの考え次第で、自分の可能性を最大限に引き出すことができます。勉強、部活動、委員会など、皆さんの活躍する場面が増えていきます。ぜひ、チャンスをつかみ取ってください。そして、地域に誇れる武蔵台小中学校を一緒につくっていきましょう。

1学期始業式 (抜粋)



2つお話しします。

1つ目です。「武蔵台小中の子供たち全員が笑顔で楽しい学校生活を送ってほしい。武蔵台小中の先生方がこの学校で働けてよかったと思ってほしい。」これが校長先生の一番の願いです。皆さんは、1年生から9年生までが同じ校舎で生活するので、違った学年と一緒に活動する縦割り活動などの場面が多くあります。みんなが笑顔で思いやりの気持ちを持って生活してほしいと思っています。後期課程の生徒は、前期課程の児童の手本となって、下級生から憧れや尊敬の眼差しで見られるようになってください。前期課程の児童は、分からないことや心配なことがあったら、何でも後期課程のお兄さんお姉さんに聞いてください。

2つ目です。「自分たちでいろいろなことを考え、実行できる児童生徒になってほしい」と思っています。こういったときはどうしたらいいか、自分で考えて生きていける人間になってください。そのためには、勉強を例であげると、1～4年生は、しっかりと教科書に載っている学習内容を身に付けてください（基礎基本の定着）。5～7年生は、自主的に調べたり、進んで勉強したりして、4年生までに身に付けた基礎基本をさらに広げていってください。8～9年生は、7年生までに身に付けた力をさらに発展・活用して自立して行ってください。これからの時代は、人と上手に関わり合いながら、変化に対応できる力を持った人間を必要としています。完璧じゃなくて構いません。少しでもそういう人間に近づこうとしてもらえたらいいのです。

武蔵台小中は、県内外から注目されている学校です。武蔵台小中の児童生徒としてプライドを持って学校生活を送ってください。そして、1年生から9年生全員で、潤いのある楽しく充実した学校生活を送っていきましょう。